



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第534号

2022年1月17日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

2022年度予算要望書を服部市長に提出

日本共産党市議団は1月7日、服部市長に来年度予算要望書を提出し、懇談しました。

要望の内容は、新型コロナ対策、福祉の充実、暮らしの安全・まちづくり、教育環境、市民の安全など5つの柱で24項目となっています。

新型コロナによる感染拡大は、オミクロン株に置き換えられ、これまでに考えられないようなすさまじい感染力で、第6波となって市民生活や中小業者に深刻な影響をもたらしています。

八千代市が市民の暮らし、命と健康を守る役割が今ほど求められているときにはありません。日本共産党市議団は、市民の安全・安心のために全力で奮闘する決意です。



予算要望書を提出

記

1・新型コロナ対策

- (1) これまで要望していたPCR検査の無料化が千葉県で実施されることとなりましたが、期限が限定されています。期限の拡大を千葉県に要望するよう求めます。
- (2) PCR検査は、無料で希望者全員が受けられるようになりました。早急に検査場所を周知するよう求めます。
- (3) 野田市では公共施設の蛇口を非接触型に変えたと聞いております。八千代市内の学校や保育園、幼稚園を始め公共施設の蛇口を徐々に変更して、市民が安心して公共施設を利用できるように求めます。

2・福祉予算の拡充

- (1) 長引くコロナ禍において生活困窮者へ市独自の給付金制度などを創設するよう求めます。
- (2) コロナ禍以前より生活が苦しい方には、税の特例制度は対応されていませんでした。そのことよっての困窮者は、差し押さえなどの通知によってさらに困窮な状況へ追い込まれています。相談窓口の対応を改善するよう求めます。
- (3) 高齢者のインフルエンザ予防接種の無料化を継続し、コロナワクチンを打てない乳幼児に対して、インフルエンザ予防接種に助成するよう求めます。
- (4) 国民健康保険料、介護保険料の引き下げを求めます。さらに、国民健康保険料について、国は新年度より未就学児に係る均等割保険料を5割軽減するとしていますが、市は18歳以下の子どもに対して、均等割保険料をなくすために助成を行うよう求めます。
- (5) 子どもの医療費助成制度を高校卒業まで拡大するよう求めます。

裏面に続く→

(6) 生活保護の申請が窓口で断られると相談が多数寄せられています。その後の申請で受給できているとの報告があるが、これは水際作戦であり、断られてから申請までの間、生活保護の受給ができていません。申請者の人権が脅かされており、憲法 25 条にも抵触しています。窓口のあり方を改善すべきと求めます。

3・暮らしの安全・まちづくり

- (1) 高すぎる東葉高速鉄道の運賃値下げは市民の願いです。学割を含む定期券の割引率の引き上げ、運賃の値下げを八千代市として求めてください。
- (2) 生活道路の整備と歩行者の安全のための整備のための予算を拡充するよう求めます。
- (3) 通学路の安全確保のため具体的計画と附設設備が早急に進めるよう求めます。
- (4) 保育園、幼稚園の送迎に自転車通園の安全確保がなされていません。保育園は保護者が希望する園にはほぼ行かれません。ならば、市が通園時に使用するヘルメットなどの購入に補助すべきであると考え、予算の確保を求めます。
- (5) 新川沿いの遊歩道の安全確保に明確な対策を求めます。
- (6) 避難所となる学校体育館のトイレの洋式化、多機能化について協議して行くと回答された昨年度の報告を受けて、協議結果を報告するよう求めます。
- (7) 高齢者の外出機会のため、オンデマンドバスなど要望する声があります。「八千代市地域公共交通計画」の調査・検討を行っている昨年度回答されていますが、その後について報告を求めます。
- (8) 公共施設の統廃合は住民の声を尊重し、徹底した話し合いをもとに進めるよう求めます。
- (9) 地域別要望
 - ・八千代台南京成ガードの拡張及び安全対策を早急に求めます。
 - ・緑が丘西地域を暮らしやすく、子育てしやすい街にするため、中学校新設を求めます。
 - ・上高野地域の投票所設置及び公共コミュニティセンターの設置を求めます。

4・教育環境

- (1) 少人数学級を進め、子どもにも教師にも安心とゆとりの持てる学級編成を行うよう、緩和策を運用せずに行うように求めます。
- (2) 避難所にも利用される学校体育館のエアコン設置を強く求めます。関係部局との協議はどの程度進んでいるのか報告を求めます。
- (3) 保護者の負担軽減のために小学校入学時の算数セットなど、学校で準備できるようにすること。中学校入学時の就学援助入学準備金は12月支給にすることを求めます。

5・市民の安全

- (1) 習志野演習場でオスプレイの飛行が予想されますが、市民の安全のためにもオスプレイの飛行はやめるよう求めます。
- (2) 習志野演習場の降下訓練は日本一小さな演習場であることから、住宅街への場外降着事故が頻発しています。さらに、2月の訓練予定の公表ではこれまでにない、訓練増の予定表で騒音問題も懸念されます。降下訓練の中止を求めます。
- (3) 通学時間帯の砲撃訓練をやめるように求めます。生活環境への影響などについての説明を国に求めているようですが、その回答を報告するよう求めます。